

面的集積優良事例調書

岐阜県

1 地区名： 岐阜県加茂郡白川町下佐見 久室地区

(事例の概要)

久室集落内の農家46戸で久室地区農用地利用改善組合を組織し、久室営農組合へ作業委託し、地区内の農地の維持管理を行なっている。

2 地区の農業概要

- ① 農家戸数 46戸（Ⅱ種兼業 46戸）
- ② 耕地面積 27.1ha（田14.3ha 畑12.8ha）
- ③ 主要作目 水稻8.7ha、大豆3.3ha、等
- ④ 担い手農家数 1経営体
- ⑤ 集積面積 14.3ha（作業受託14.3ha）
うち面的集積面積 14.3ha（作業受託14.3ha）

3 取組の特徴

① 経緯

品目横断的経営安定対策に取り組むため、平成19年度に地域全体で農用地利用改善団体を設立、久室営農組合を特定農業団体として位置付け作業委託して、省力化、低コスト化を図っている。

② 成果

平均30aの水田を個々の農家が管理していた集積前と比較し、効率的に作業が行われるようになった。

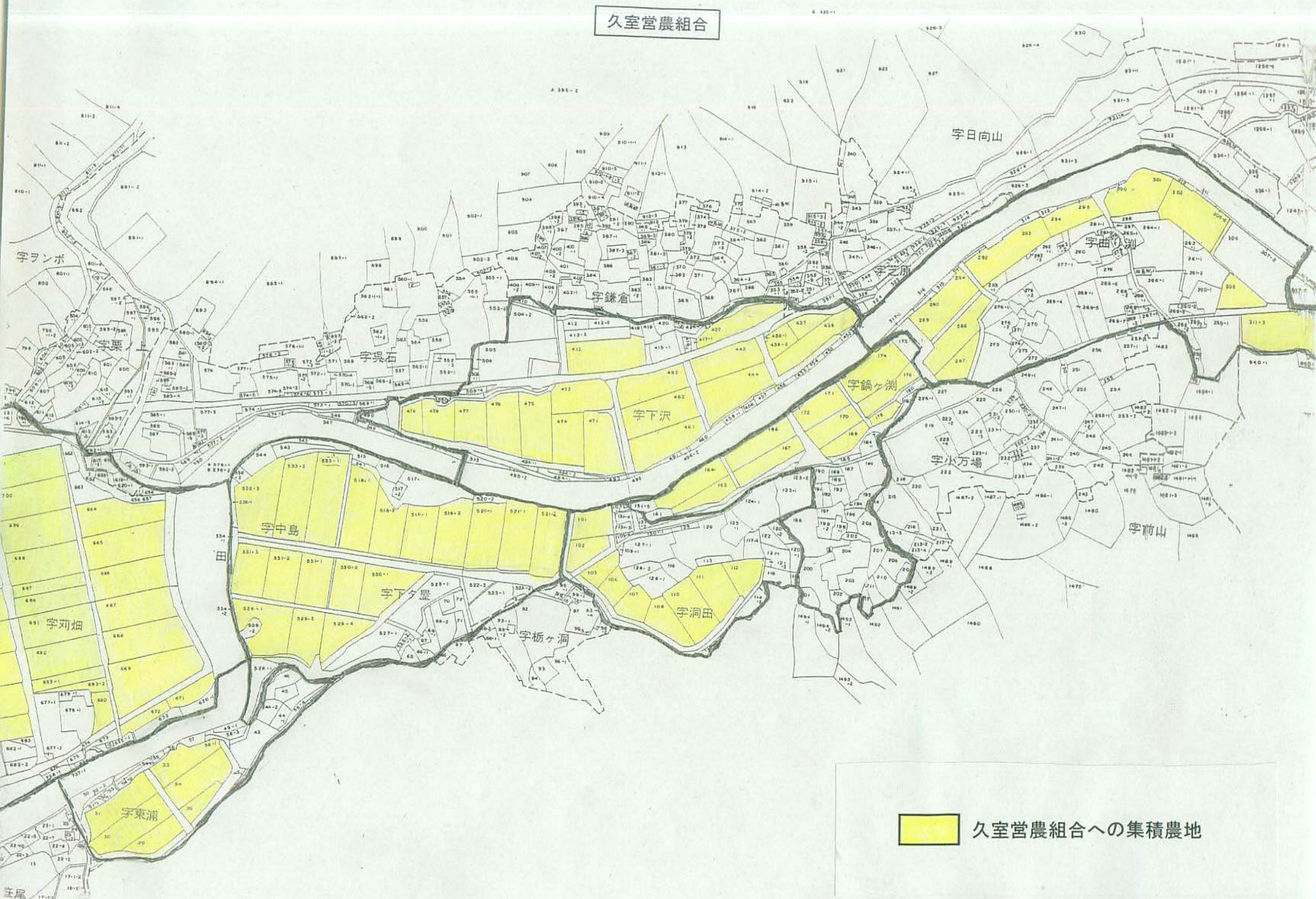
転作作物について専用機械を利用し、計画的に管理されるようになったため、省力化が図られたとともに、品質向上につながった。

4 今後の課題

地区周辺において不在地主の農地が管理されず、耕作放棄地となっているケースがある。このような農地の維持に営農組合がどう関わっていくか検討する必要がある。

法人化するため経営の安定化を図る必要がある。転作大豆の栽培体系を見直すなどして省力化を図り、コスト削減を進めていく。

久室宮農組合



久室宮農組合への集積農地